



2006

要覧

さいたま市立教育研究所



所在地

〒330-0064

さいたま市浦和区岸町6-13-15

電話 048-838-0781

FAX 048-838-0888

E-mail kenkyujo@saitama-city.ed.jp

URL <http://www.saitama-city.ed.jp>

目次

・ 教育研究所運営方針	P 2
・ 教育研究所組織図	P 3
・ 業務分担一覧	P 4
・ 調査研究事業	P 6
・ 教職員研修事業	P 8
・ 情報教育事業	P 2 3
・ 主な施設・設備	P 2 5

平成18年度教育研究所運営方針と重点事業

平成18年度の運営方針

- 1 「潤いのある教育」の推進を図る。
- 2 学校のニーズと時代の要請を常にとらえながら、一步先の事業展開を図る。
- 3 埼玉大学やさいたま市教育研究会等、その他の機関と連携を強める。

平成18年度の重点事業

●教育改革を推進する調査・企画研究事業の充実

各教科の「確かな学力」の向上を図る研究の推進
学習状況調査の実施とその分析結果に基づく、各教科の指導法の研究
現代の教育課題に応える課題研究の充実

●未来のさいたま市教育を支える「教職員研修」の工夫・改善

ライフステージに応じた研修の体系化「年次研修と一般研修の連携」
教職員のニーズに応じた研修の構築と円滑な実施
大学等と連携した研修の開発（埼玉大学等、市教育研究会等）

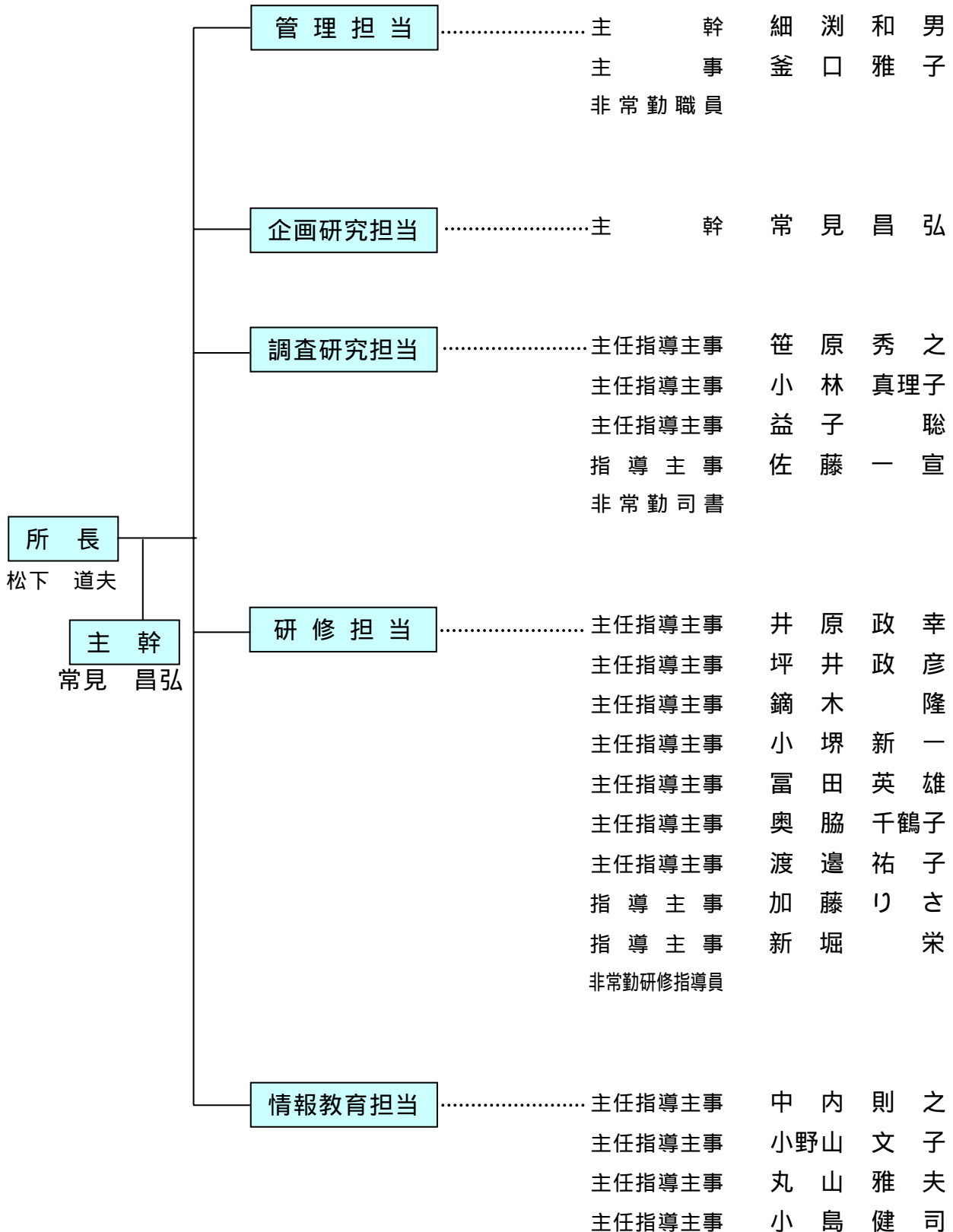
●情報教育の推進

情報教育の体系的な推進
教職員及び児童生徒の情報活用能力の育成
校内LANの敷設と普通教室のコンピュータ設置事業の推進
校内LAN接続の普通教室設置コンピュータを活用した授業方法の研究
学校図書館コンピュータシステム構築事業の一層の推進
各学校のWebページ更新、充実の支援
教育委員会学校教育部Webページ「さいたま市の学校教育」の円滑な運営と展開
教育研究所Webページ及びデータベースの充実と円滑な運営

●学校を支援するカリキュラム開発支援センター機能の強化

学習指導案のデータベース化とインターネット活用の推進
各学校の研修への積極的支援
図書資料室の一層の整備と学校間物流による支援強化

組 織 図



業務分担一覧

職名・氏名	担当・教科領域等	研究委員会・資料作成委員会	研 修 会	そ の 他
参事兼研究所長 松下 道夫				
主幹 常見 昌弘	企画研究担当リーダー 道德			運営委員会 校長会 教頭会 予算 議会 教委連絡調整 視察対応 防火防災 施設管理 *ファイリング *研修会会場調整 *指導主事会議 *年間計画・日程 *情報公開 *決算監査

管理担当

職名・氏名	財 務 ・ 会 計	庶 務 ・ 業 務 ・ そ の 他
主幹 細淵 和男	予算編成 決算 契約	管理担当統括 施設管理 情報公開 企画研究
主事 釜口 雅子	契約 予算執行	非常勤職員給与 施設管理 備品管理 車両管理 文書收受 照会文書受付 研修室利用 ファイリング ネットワーク運用管理

調査研究担当

職名・氏名	担当・教科等	研究委員会・資料作成委員会	研 修 会	そ の 他
主任指導主事 笹原 秀之	調査研究リダー 社会科	* 学習状況調査 * 意識・生活実態調査 * 小学校社会科マルチメディア教材制作委員会 ・教科研究委員会	< 専門研修 > * 新任学年主任研修会(推) * 資料で考える小学校社会科指導法研修会(希)	調査研究全体調整 * 指定都市教育研究所共同研究 * 大学連携事業 * 要覧
主任指導主事 小林真理子	調査研究 図画工作、美術科	* 教科研究委員会 * Lesson Study 研修会全体調整 * 図画工作科研究委員会 * 美術科研究委員会	< 専門研修 > * 美術科実技研修会(指) * 図画工作科「造形遊び」研修会(希) * 図画工作科「ほり進み版画」研修会(希)	* カリキュラムサポートセンター運営全般 (図書購入、サークルサポート等) * 教育文献収集・提供 * 教育さいたま編集 ・教科書展示会、教科書センター ・マルチメディア教材制作(H17 継続) ・研究所Webページ
主任指導主事 益子 聡	調査研究 算数科	* 算数科学習状況調査 * 小学校体育科研究委員会 ・意識・生活実態調査	< 専門研修 > * 算数、数学科指導法研修会(指) * 算数、数学科授業力向上研修会(指・希) * 実践講座 「異業種に学ぶ接遇」(希)	* 学習指導案収集・提供 * 指導案データベース * 教育研究所連盟(全国、関東、埼玉県) * 教科書展示会、教科書センター ・教育さいたま編集 ・指定都市教育研究所共同研究
指導主事 佐藤 一宜	調査研究 社会科	* 中学校社会科学習状況調査 * 中学校社会科研究委員会 * 中学校社会科マルチメディア教材制作委員会	< 専門研修 > * 中学校社会科指導法研修会(指) * 道德教育研修会(希) * 学級担任のための軽度発達障害研修会(希)	* 校内研究集録 * 研究委嘱 * 所報 * 授業ビデオ収集、提供 * 教育資料目録 ・要覧 ・情報、視聴覚機器
非常勤司書 小林きよみ	司書業務全般 教育研究所図書資料室運営 学習指導案・教育文献等資料提供 学校図書館用コンピュータ操作支援補助 学校間物流 教育資料目録			

研修担当

主任指導主事 井原 政幸	教職員研修リーダー 社会科 生活科 総合的な学習の時間	* 生活科研究委員会	< 特別研修 > * 教育経営研修全般(推) < 専門研修 > * 生活科生き物探検研修会(希) * 生活科コンピュータ授業活用研修会(希)	教職員研修全体調整 * 研修業務全体計画 * 研修会場調整 ・運営委員会 ・指導主事会議
主任指導主事 坪井 政彦	教職員研修 外国語(英語)科	* 外国語(英語)科学習状況調査 * 外国語(英語)科研究委員会	< 特別研修 > * 指導力向上研修 ・教育経営研修(推) < 専門研修 > * 英語科音声指導スキルアップ研修会(希) * 小学校英語活動研修会(希) * 特別活動研修会(指・希)	* 研修指導員連絡調整 * 指導主事会議資料 * 指導主事研修会
主任指導主事 鎌木 隆	教職員研修 数学科 総合的な学習の時間	* 中学校体育・保健体育科研究委員会 ・学習状況調査 ・意識、生活態度調査	< 年次研修 > * 25年経験者研修(希) * 若い教師のための学級経営研修会(希) * 10年経験者研修(必) < 専門研修 > * 校内LAN活用(算数)研修会(希) * 校内LAN活用(数学)研修会(希)	* 学習状況調査、報告書作成 * 研修会案内 ・研修会場調整 ・教職員研修全体調整

指導主事 加藤 りさ	教職員研修 音楽科	* 小学校音楽科研究委員会 * 中学校音楽科研究委員会	< 年次研修 > * 初任者研修機関研修 (必) * 各指導教員研修会 < 専門研修 > * 中学校音楽実技研修会 (指) * 和楽器実技研修会 (希) * 楽しい音楽の授業づくり研修会 (希)	* 和楽器貸出 * 初任者研修の手引 ・ 初任者研修テキスト(冊子)
主任指導主事 小堺 新一	教職員研修 社会科	* 小学校社会科研究委員会	< 年次研修 > * 10年経験者研修 (必) < 特別研修 > * 教育特別講演会 (指・希) ・ 指導力向上研修 < 専門研修 > * 博物館をもっと知ろう研修会 (希) * 社会科フィールドワーク研修会 (希)	* 10年経験者研修の手引 (冊子) * 市教研連絡調整
指導主事 新堀 栄	教職員研修 算数科	* 算数科研究委員会	< 年次研修 > * 5年経験者研修 (必) < 専門研修 > * 実践講座 (希) * 環境教育研修会 (希) * 福祉ボランティア研修会(希)	* 5年経験者研修の手引 (冊子) * 教師力養成塾
主任指導主事 富田 英雄	教職員研修 理科	* 中学校理科学習状況調査 * 中学校理科研究委員会 * 理科マルチメディア教材制作委員会	< 初任者研修 > * 初任者研修学校研修 (必) * 理科の大好きな子どもを育てる研修会 (指・希) * 小学校理科実験の初歩研修会 (希) * 教務主任のためのコーチング研修会(指・希)	* 初任者研修概要 * 初任者研修テキスト (冊子) * 初任者研修協議会 ・ 所長協初等理科部会事務局
主任指導主事 奥脇千鶴子	教職員研修 国語科 総合的な学習の時間	* 小学校国語科学習状況調査 * 小学校国語科研究委員会	< 特別研修 > * 教育経営研修運営 (推) < 専門研修 > * 国語力向上研修会 (指) * 学校図書館運営研修会 (指) * 総合的な学習の時間研修会 (希)	* 教育経営研修手引、報告書 (冊子) * 駐車場 ・ 専門研修参加者調整 ・ 文学散歩 ・ 資料収集
主任指導主事 渡邊 祐子	教職員研修 数学科	* 中学校数学科学習状況調査 * 数学科研究委員会	* 臨時的任用教員研修 < 専門研修 > * 体育、保健体育学習研修会 (指・希) * 実践講座 (希) * 教務主任研修会 (指) * 不登校対応研修会 (希)	* 臨時的任用教員研修手引・テキスト * 研修会参加者調整、予算等一覧、報告作成 * 厚生 ・ 研修会場調整 ・ 資料収集
研修指導員 風間 方子 栗原 巖 指導力向上指導員 佐原 和久	研修補助、研修報告整理、テキスト作成等 指導力向上研修			

情報教育担当

主任指導主事 中内 則之	情報教育リーダー 技術・家庭科	* 校内LAN活用研究委員会 * 技術・家庭科研究委員会	< 専門研修 > * 情報危機管理研修会 (指) * 技術科1日たっぶりものづくり研修会(希) * 家庭分野指導法研修会 (希)	情報教育関係全体調整 * 教育情報ネットワーク管理運用 * 情報教育全体計画(e-Saitama計画) * 校内LAN導入 (* 中高一貫校コンピュータ) * 教育用コンピュータ導入 * SE管理 * 調査統計・事業調書
主任指導主事 小野山文子	情報教育 総合的な学習の時間 国際理解教育 家庭科	* 小学校家庭科研究委員会 * 校内LAN活用研究委員会	< 専門研修 > * 学校図書館コンピュータ導入校研修会(指) * 学校図書館コンピュータ導入校司書研修会 * 学校図書館コンピュータ入替校司書研修会 * 家庭科調理と製作研修会 (希) * 国際理解研修会 (希)	* 校内LAN研究推進 * 学校図書館システム構築事業 * 学校図書館データベース化委託 ・ Webページ運用(所・学校図書館) * 学校図書館資源共有ネットワーク連絡協議会
主任指導主事 丸山 雅夫	情報教育 理科	* 小学校理科研究委員会 * 校内LAN活用研究委員会 * マルチメディア教材制作委員会	< 専門研修 > * 情報モラル研修会 (指) * 学校Webページ更新研修会 (指) * 小学校理科実験実技研修会 (希) * 授業活用のための校内LAN(理科)研修会 (希)	* 校内LAN導入 * 所内LAN管理 * 情報管理室管理 * 教育用コンピュータ導入 ・ Webページ運用(所・学校・学校教育部) ・ 情報教育全体計画(e-Saitama計画)
主任指導主事 小島 健司	情報教育 国語科	* 校内LAN活用研究委員会 * 中学校国語科学習状況調査 * 中学校国語科教科研究員会	* 年次研修会(情報教育) < 専門研修 > * 少人数指導のためのコンピュータ活用研修会(指) * デジタル教材作成研修会(希) * コンピュータ導入校研修会(指) * コンピュータ専門研修会(指) * 国語科実技研修会 (希)	* ガイドライン・運用規程 * 情報教育研究紀要作成 * 共催承認(情報教育) * 文学散歩 * Webページ運用 (所・学校図書館) ・ 調査統計・事業調書 ・ 校内LAN研究推進
臨時職員 斉藤 充	Webページ作成・管理、研修会補助、情報機器補助、所員技術支援等			

調査研究事業

1 「生きる力」をはぐくむ「潤いのある学校教育」の推進を目指す研究

「生きる力」をはぐくむ「潤いのある学校教育」の推進を目指し、本市の児童生徒に学習状況調査を実施する。その調査結果を基に、教育課程の編成や学習指導の工夫・改善を図るための教科研究を推進する。また、意識・生活実態調査を実施し、児童生徒の姿を多面的に明らかにする。

(1) 学習状況調査

さいたま市独自の問題を作成し、次の学年、教科で学力面の調査を実施する。全ての児童生徒に実施し、結果を個に還元する。また、確実に実施するための事前の説明会及び結果を各学校の教育課程に生かすための結果報告会を行う。

対象

さいたま市立小学校第5学年及び中学校第2学年の全児童生徒

実施教科

小学校第5学年 国語・算数

中学校第2学年 国語・社会・数学・理科・英語

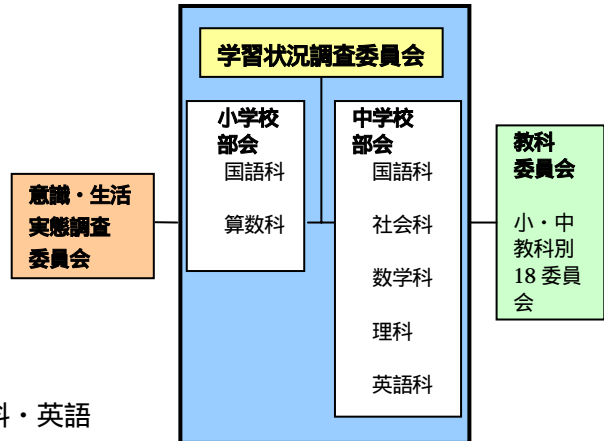
実施基準日

小学校 11月30日(木) (予備日:12月1日、4日)

中学校 10月26日(木) (予備日:10月27日、30日)

調査結果

- ・報告書を発行し、指導法等の提言を行う。
- ・結果を児童生徒に示し、個に還元する。
- ・報告会を開催し、結果に関する報告及び次年度の計画について説明を行う。



(2) 意識・生活実態調査

さいたま市の児童生徒の生活や学習の実態・意識を調査することにより、子どもたちの姿を明らかにする。実態を正確に把握するため、対象学年全ての児童生徒で実施する。また、学力面での調査と併せて分析することにより、指導上の提言を行う。

対象

さいたま市立小学校第5学年及び中学校第2学年の全児童生徒

調査内容

「家庭における生活」、「家庭における学習」、「学校における生活」、「学校における学習」

調査結果

結果をグラフ化し分析を加えて学習状況調査報告書に掲載する。

(3) 教科研究

学習状況調査と連動させ、その結果に基づいて研究の視点を焦点化し指導法を研究する。学習状況調査を実施しない教科についても、各教科の課題を踏まえた研究テーマの下に、学習指導法の工夫・改善に資する調査研究に取り組む。

対象教科

国語・社会・算数、数学・理科・生活・音楽・図画工作、美術・体育、保健体育・家庭、技術・家庭・外国語の10教科

研究方法

小・中学校別に委員会を設け、課題を絞り込んで研究を進める。研究経過はWeb上で公開して意見を募集する。また、研究内容を検証する授業を市内の教員に公開することにより、双方向の研究とする。

研究成果

リーフレットを発行し、成果はWeb上に公開する。

2 カリキュラムサポートセンター事業（カリキュラム開発支援事業）

（1）コンテンツの提供

学習指導案の収集と学年・教科別公開（紙媒体・Webページ）
 授業実践のビデオ記録とライブラリー化
 市内各学校の研究紀要や委員会等作成の研究冊子の収集と閲覧
 通知表の収集と閲覧
 授業実践に生かせる教材・教具の紹介

（2）コンサルティング

学習指導や研修に関する個々の教員の相談に対応する。

（3）図書資料室による支援

学校間物流への参加と支援（対象156校）
 図書資料の収集・データベース化・貸出
 「教育資料目録」の作成

（4）「教育さいたま」の編集・発刊（第15・16号）

さいたま市内の学校教育及び社会教育に関する研究、随想、実践報告等を掲載し、本市の教育の充実に寄与する目的で編集・発行する。

（5）教科書センターの運営（6月中旬より14日間展示 第2研修室）

3 その他

教育研究所連盟共同研究（全国・指定都市・関東地区・埼玉県）

- ・第15次政令指定都市共同研究
- ・都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会研究協議会及び研究発表会準備

平成18年度 教育研究所刊行物等一覧（1～12全てWeb Up）

	刊 行 物 等	冊子の発行
1	要覧	
2	所報 第13号	
3	「教育 さいたま」 第15・16号	
4	平成18年度 さいたま市小学校学習状況調査報告書	
5	平成18年度 さいたま市中学校学習状況調査報告書（教科別）	
6	教科研究委員会研究報告 「子どもたちに目に見える学力を ～さいたま市学習状況調査等から捉えた課題の把握を通して～」	
7	教科研究委員研究授業指導案	
8	初任者研修テキスト「教師としての基礎・基本」 ～潤いのある教育の実現に向けて～	
9	初めて教職に就く臨時的任用教員のための研修テキスト	
10	情報教育資料	
11	校内研究集録	
12	教育資料目録	

教職研修事業

1 基本方針

「未来のさいたま市教育を支える教職員研修の工夫・改善」

政令指定都市教育委員会は、教職員研修について一義的な責務を負います。その主たる実施機関である教育研究所における研修事業は、市内の各学校における教育活動等の充実に向けた取組を支援し、もって「『生きる力』をはぐくむ『潤いのある教育』」を推進することを目的としています。

そのため、以下の3点を努力事項とし、現在及び未来のさいたま市教育を支える教職員の豊かな人間性や専門的な知識・技能、幅広い教養等を基盤とする教師力の向上を図ることをねらいとして実施します。

<努力事項>

- ・ライフステージに応じた研修の充実
- ・学校の課題やニーズに対応した実効性のある研修の構築と円滑な実施
- ・大学等と連携した研修の開発

2 事業内容

(1) 研修内容による区分

年次研修 教職経験年数に応じた研修で対象教員必修の研修

専門研修 教職に関する専門性を高める研修

特別研修 教員のキャリアアップ、スキルアップを図るため特別に実施する研修

(2) 参加対象の区分

指定研修 各種の主任及び専門分野を担当する教職員を指定して行う研修

必修研修 年次計画に基づいて進める全教員必修の研修

推薦研修 推薦・選考に基づき、指導的な役割を果たす教員を養成する研修

希望研修 教職員の自発的な希望により教職に関する専門性を高める研修

(3) ライフステージに応じた研修の体系

【ライフステージに応じた研修のねらいと育成したい主な資質・能力】

経験	ライフステージに応じた研修のねらいと育成したい主な資質能力		基幹となる研修
1年	ステージ1 (初任期)	教育活動に必要な基礎的・基本的事項及び実践的指導力を身に付け、教員としての資質・能力の向上を図る。	初任者研修 若い教師のための学級経営研修 5年経験者研修
5年		・教育公務員としての自覚 ・学習指導、生徒指導、学級経営等日常の指導についての職務遂行能力 ・研修意欲の涵養	
10年	ステージ2 (中堅期)	教育活動に関する専門的な知識・技能や実践的指導力を磨き、自己の得意分野を開発するとともに、学校運営への積極的な参加意欲を高め、中堅教員として一層の資質・能力の向上を図る。	10年経験者研修 学年経営研修会
15年		・学校運営への積極的な参加に必要な企画立案、事務処理等の資質能力 ・学年経営、教科経営、各種主任等に必要の専門的知識・技能と幅広い教養 ・社会性と広い視野と柔軟性に富む職務遂行能力 ・若手教員をリードし、学校運営を推進する意欲と実践力	
20年	ステージ3 (熟練期)	教育活動について、より広い視野から課題解決の方策を見だし、学校運営を推進する態度や能力を高める。	教務主任研修会 教育経営研修会
25年		・教育に関する高い理念や識見、より高度な専門性 ・地域や学校の状況・課題等を的確に把握する能力 ・豊かな教職経験を生かして教科研究や校務分掌等において、教職員をリードする能力	

(4) 教職員研修事業改善・充実の視点

研修体系及び区分をより分かりやすく改善し、一層の体系化を図るとともに、教職員研修の一元的な実施を推進する。

年次研修のシラバスに基づき、研修内容の充実を図るとともに、2年目教員の自立をサポートする「若い教師のための学級経営研修会」、ベテラン教員の自己啓発を促す「25年経験者研修」を新設し、希望者を対象として実施する。

年次研修の選択研修を拡充し個々の課題に応じた研修の充実を図るとともに、コース別研修を導入し経験や能力等の個人差に応じた研修を推進する。

情報教育の研修プログラムを年次研修に位置付け、ICT指導力等の向上を図る。

学校組織マネジメント研修を計画的に導入し、学校組織の一員として自己の力量を発揮する資質・能力の向上を図る。

中学校教員の専門性を高める研修の充実を図る。

学校の課題や教職員の多様なニーズに対応した研修を新設し、実践・演習など、具体的で直ぐに日々の教育実践に役立つ内容・方法を工夫するとともに、幅広く教員の自主的な研修をサポートする。

指導力向上研修を本格的に実施する。(短期指導力向上コース、中期指導力向上コース)

臨時的任用教員の研修テキストを作成し活用を図るとともに、初めて教職に就く臨時的任用教員に重点化して実施する。

埼玉大学や市教育研究会等との連携を図り、幅広く多様な研修を開発し実施する。

(5) 研修会実施に当たっての配慮事項

5月上旬に「教育研究所教職員研修会案内」(ポスター・リーフレット)を各学校に送付し、Webページにも記載する。

研修会の参加者報告・参加申し込み、参加決定通知等は、すべてEメールにて行う。

「研修会の参加者報告・参加申し込み」書式は、教育研究所Webページに掲載する。

各研修会実施要項は、教育研究所Webページに掲載する。各学校で閲覧し、必要に応じ印刷して活用できるようにする。文書による送付は行わない。

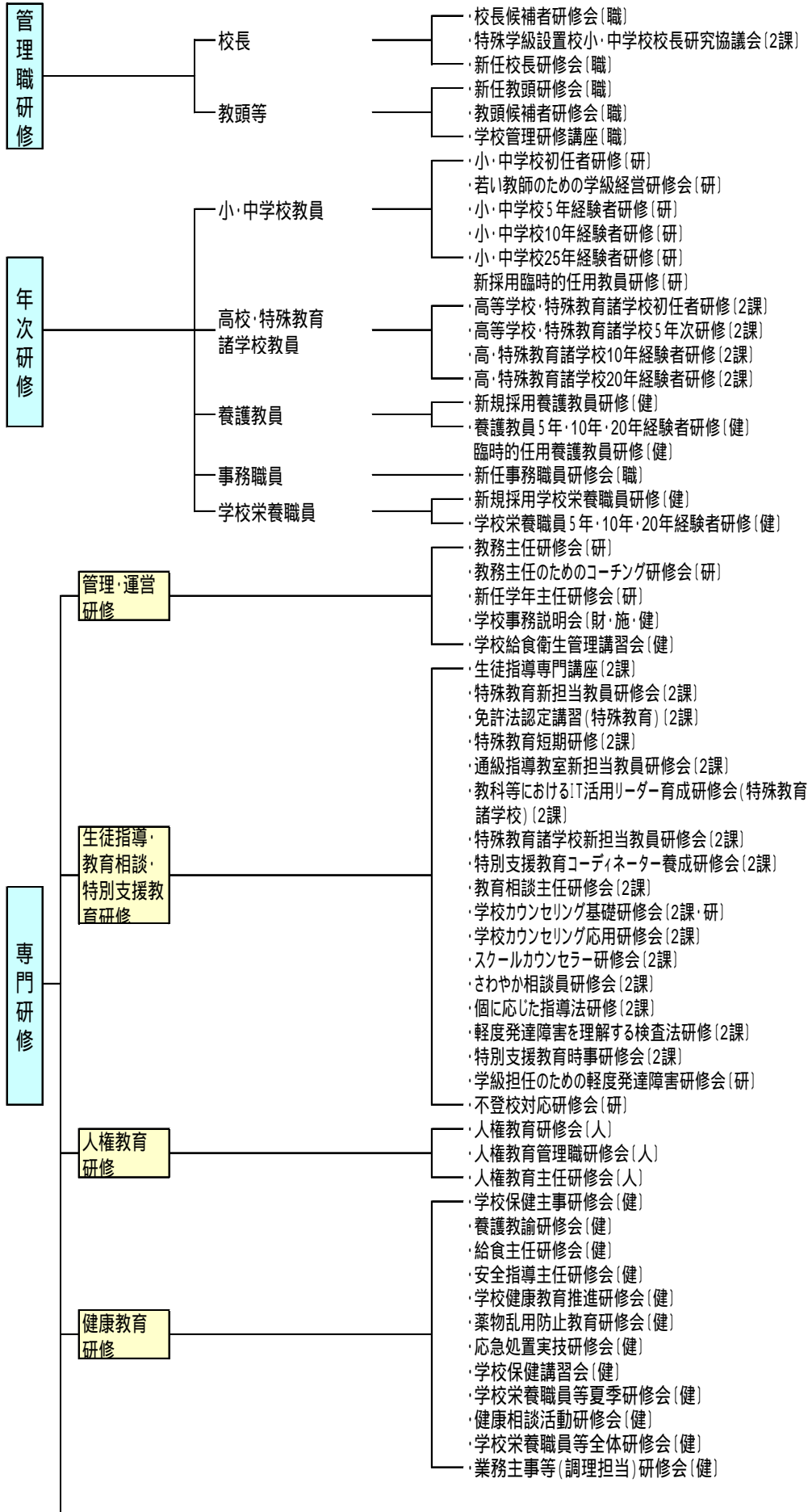
指定研修は、該当者が不都合の場合、これに代わる者が必ず出席する。

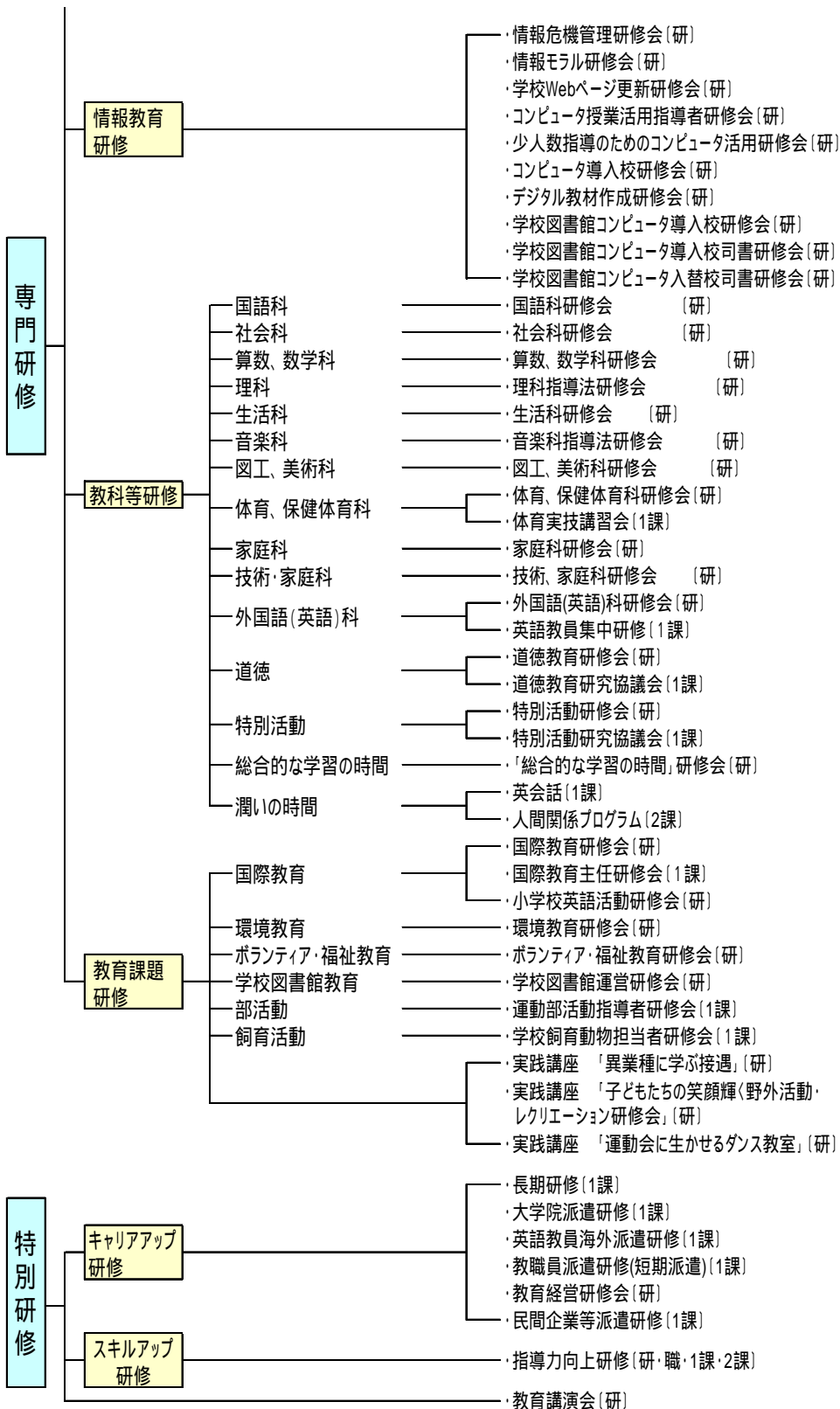
希望研修は、申し込み者が定員を超えた場合参加できないこともある。申し込み締切後、参加決定通知を各学校長宛てEメールで送付する。特定・必修研修については、各学校からの参加者報告をもって決定とし、派遣申請等の通知はしない。

4月、5月に実施する各研修会及び推薦研修については、別途送付する各研修会実施要項に基づき実施する。

研修会を欠席(遅刻・早退)する場合は、所定の様式により教育研究所あて欠席(遅刻・早退)届を提出する。様式については、教育研究所Webページに掲載する。

平成18年度 さいたま市教職員研修体系





()内は主管する課所の略称
 (職)教職員課 (財)教育財務課 (施)学校施設課 (1課)指導1課 (2課)指導2課
 (健)健康教育課 (研)教育研究所 (人)生涯学習振興課人権教育推進室

さいたま市教育委員会学校教育部の各課所室が主催する研修会(県との共同実施・委託を含む)のうち小・中学校を中心に主なもののみ記載。

平成18年度 さいたま市立教育研究所教職員研修会案内



【指定研修】 各種の主任及び専門分野を担当する教職員各校1名を指定して行う研修

研修会番号	研修会名	対象(定員)	実施日時	会場	研修内容
4	国語力向上研修会	小中養 国語科教員	7月25日(火) 13:30 ~ 16:30	B	国語学習に先進的に取り組む教員を提案者にした実践報告会や文部科学省国語科調査官 井上一郎氏の講演を通し、国語科の指導方法の工夫改善を目指します。
5	中学校社会科 指導法研修会 ～地域資料活用講座～	中 社会科教員	8月3日(木) 9:00 ~ 12:00	C	県立文書館が収蔵する資料の探し方や授業における活用の仕方を学びます。また、古文書の読解方法の基礎を身に付けます。各学校1名が受講します。 (会場:県立文書館)
6-	小中の連携を図る 算数、数学科 指導法研修会	小中 算数科主任 数学科主任	6月14日(水) 13:30 ~ 16:30	C	小学校の授業を参観後、研究協議会を通し小学校の算数と中学校の数学との指導法の連携を図ります。算数、数学科主任で平成16・17年度に本研修に参加された方は、他の教員に代えることも可能です。 会場と対象・・・ 与野南小会場・西・中央・桜・南区対象 大宮小会場・北・大宮・浦和区対象 大砂土東小会場・岩槻・見沼・緑区対象
6-			6月23日(金) 13:30 ~ 16:30	C	
6-			6月27日(火) 13:30 ~ 16:30	C	
7	算数、数学科 授業力向上研修会	小中 算数科主任 数学科主任	8月24日(木) 9:00 ~ 12:00	B	平成17年度教育研究所教科研究員による実践発表(小中各1本)と、國學院栃木短大教授 正木孝昌氏による講演です。算数、数学科主任で昨年度本研修に参加された方は、他の教員に代えることも可能です。
8	理科の大好きな子どもを 育てる研修会(2日間)	中理科教員 (実施要項 確認)	7月31日(月) 9:00 ~ 16:30 8月28日(月) 9:00 ~ 16:30	A C	2日間、4つの講座(詳細は実施要項確認)を開設します。講演及び物理、化学、生物、地学の実技・演習が中心です。プラネタリウムの投影演習もあります。 (8月28日の会場:青少年宇宙科学館)
9-	中学校音楽科実技研修 ～箏・和太鼓を学ぼう～	中 音楽科教員	8月28日(月) 9:00 ~ 12:00	A	箏・和太鼓のどちらかに半日取り組み、奏法を学びます。和楽器の授業の内容を深めていくために、先生方自身が演奏できるようになることが目的です。
9-			8月28日(月) 13:30 ~ 16:30	A	
10-	美術科の授業力 向上研修会	中養 美術科教員	8月8日(火) 9:00 ~ 12:00	A	重要視されている「鑑賞」の講義・授業提案の後、夢のあるお菓子のパッケージデザインをします。実施要項を御覧いただき、コース選択希望・当日までの課題等を確認ください。
10-			8月8日(火) 13:30 ~ 16:30	A	
11	ミニマムを保障する 体育、保健体育科 学習研修会	中 保健体育科 教員	8月2日(水) 9:00 ~ 12:00	A	筑波大学教授 高橋健夫氏を講師に迎え、すべての子どもに必要なミニマムについてご講演いただきます。併せて本市の教科における現状と課題について考え、学習指導へ生かしていきます。
12	道徳教育研修会 ～しなやかな授業を 目指して～	中 教員	8月8日(火) 13:30 ~ 16:30	A	実践発表、研究協議、国立教育政策研究所の西野真由美氏の講義を通して道徳の時間における指導方法について学びます。各中学校1名以上の教員が受講します。
13	特別活動研修会	小中養 教員	7月24日(月) 9:00 ~ 12:00	A	学級活動の指導について学んだ後、小・中別実践発表と協議を行います。小学校は中学校の実践例(キャリア教育)、中学校は小学校の実践例(話し合い活動)を学び、双方のよさを学ぶ機会とします。
14	学校図書館運営研修会	小中養 司書教諭 (主任)	7月25日(火) 9:00 ~ 12:00	B	各学校の司書教諭による実践報告等を行い、情報を交換・共有することで、よりよい学校図書館運営の在り方を模索します。また、全国SLA研究・調査部長 森田盛行氏を講師に招き、講演会を実施します。
15-	学校Webページ更新 研修会 (計3日間)	小中養 担当者	4月12日(水) 13:30 ~ 16:30	A	学校Webページの充実を図るために、更新作業を習得・実施し、Webページを教育活動に利用できるようにします。 (学期分毎に1回 年間3回の研修を行います。)
15-			4月14日(金) 13:30 ~ 16:30	A	
15-			4月18日(火) 13:30 ~ 16:30	B	
15-			4月19日(水) 13:30 ~ 16:30	B	
15-			8月22日(火) 9:00 ~ 12:00	B	
15-			8月22日(火) 13:30 ~ 16:30	B	
15-			8月23日(水) 9:00 ~ 12:00	B	
15-			8月23日(水) 13:30 ~ 16:30	B	
15-			8月28日(月) 9:00 ~ 12:00	B	





【推薦研修】推薦・選考に基づき、指導的な役割を果たす教員を養成する研修

研修会番号	研修会名	対象(定員)	実施日時	会場	研修内容
27	教育経営研修会	小中 教員 (20名)	5月12日～12月8日 別途通知	A	教育法規、危機管理事例研究、学校経営演習等、学校経営に必要な資質を身に付ける研修会です。
28	新任学年主任研修会 (3日間)	小中養 教員 (30名)	6月23日(金)14:30～16:30 7月25日(火)9:00～16:30 8月2日(水)9:00～16:30	A A B	学校づくりの中核を担う学年主任の職務や役割等、学年経営についての基礎的理解を図り、実践に生かす研修を行います。宇都宮大学教授 藤井佐知子氏をお招きして、学校組織マネジメントに関する講義や演習等を行います。

会場 A;教育研究所 B;職員研修センター C;その他



【希望研修】教職員の自発的な希望により教職に関する専門性を高める研修



研修会番号	研修会名	対象(定員)	実施日時	会場	研修内容
29	若い教師のための 学級経営研修会 (2日間)	小中2年目 教員 (100名)	5月23日(火)15:15～16:30 7月25日(火)9:00～16:30	A	講話や協議・演習を通して、2年目の教員が直面する学級経営上の課題について、解決のための糸口を示し、自立した教育活動が展開できるよう支援します。 (2日とも参加が原則)
New 30	小・中学校25年経験者 研修会 (4日間)	小中25年目 以上教員 (160名)	5月30日(火)14:30～16:30 7月26日(水)9:00～16:30 夏季休業中の埼玉大学講座(1日) 10月6日(金)14:45～16:30	A	講義や演習・協議を通して、ベテラン教師としての見識をさらに高めます。埼玉大学の講座も受講できます。 (全日程の参加が原則)
31	国語科実技研修会1 ～楽しくゆたかに読もう～ 読書へのアニメーション	小中高 教員 (50名)	8月3日(木)13:30～16:30	A	読書へのアニメーション実践研修。アニメーションの手法を国立教育政策研究所 有元秀文氏をお招きして、直接指導していただきます。これまで読書活動推進研修会へ参加していない方を優先します。
32	国語科実技研修会2 ～書き方がわかる！～ 読書感想文の書き方研修会	小中高 教員 (130名)	8月3日(木)9:00～12:00	A	読書感想文の書き方や添削の仕方を、全国SLA委員長の徳永隆徳氏から指導していただきます。
33-	国語科実技研修会3・4 ～教室の読みが 変わる！～	小中高教員 (130名)	7月24日(月)13:30～16:30	A	教科書教材を中心に、効果的な音読の指導方法について研修します。参加者全員で、大きな声で読みましょう。 2日間どちらかの参加をお願いします。
33-		小中高教員 (130名)	8月25日(金)13:30～16:30	B	
34	資料で考える 小学校社会科 指導法研修会	小 教員 (100名)	8月22日(火)9:00～12:00	A	新しくなった副読本の活用について研修します。東北福祉大学教授で教材・授業開発研究所代表 有田和正氏の講義から資料を活用した考える社会科授業について学び、指導力の向上を図ります。
35	博物館をもっと知ろう 研修会	小中 教員 (35名)	8月24日(木)9:00～16:30	C	博物館と連携した授業づくりの方法や博物館資料の授業活用の仕方を学びます。また、歴史学習に役立つ「もの」の製作(勾玉他)も行います。材料費は各自の負担となります。 (会場;さいたま市立博物館)
36	社会科フィールドワーク 研修会 - 見て、触れて 学ぶ社会科 -	小中 教員 (35名)	8月1日(火)9:00～16:30	C	与野の本町通りを実際に歩き、地域に伝わる文化財についての見聞を広めます。また、与野の歴史について民家園館長よりお話を伺います。 (会場;与野公民館)
37 (7)	算数、数学科 授業力向上研修会	小中 教員 (84名)	8月24日(木)9:00～12:00	B	平成17年度教育研究所教科研究員による実践発表(小中各1本)と、國學院栃木短大教授 正木孝昌氏による講演を行います。
38-	New 授業充実のための 校内LAN活用研修会 (小学校・算数)	小 教員(24名)	8月18日(金)9:00～12:00	B	コンピュータ室に導入されている算数関係のソフトウェアの機能・操作方法について理解を深めます。また、教科指導における校内LANを活用したコンピュータ使用例等を紹介しします。
38-		小 教員(24名)	8月18日(金)13:30～16:30	B	
39-	New 授業充実のための 校内LAN活用研修会 (中学校・数学)	中 教員(24名)	8月17日(木)9:00～12:00	B	コンピュータ室に導入されている数学関係のソフトウェアの機能・操作方法について理解を深めます。また、教科指導における校内LANを活用したコンピュータ使用例等を紹介しします。
39-		中 教員(24名)	8月17日(木)13:30～16:30	B	
40- (8)	理科の大好きな子どもを 育てる研修会	小中高養 教員(44名)	7月31日(月)9:00～12:00	A	2日間、午前、午後に分けて4つの講座(詳細は実施要項を確認)を開設します。講演及び物理・生物・化学・地学分野の実技・演習中心です。プラネタリウム投影演習もあります。 (8月28日の会場;青少年宇宙科学館)
40- (8)		小中高養 教員(30名)	7月31日(月)13:30～16:30	A	
40- (8)		小中高養 教員(30名)	8月28日(月)9:00～12:00	C	
40- (8)		小中高養 教員(30名)	8月28日(月)13:30～16:30	C	

研修会 番号	研修会名	対象 (定員)	実施日時	会場	研修内容
41	小学校理科実験の初歩 研修会	小養 教員 (20名)	8月2日(水) 9:00～16:30	A	小学校の理科の授業で扱う基本的な実験操作、試薬の調整等を行います。理科指導に不慣れな先生、ぜひご参加ください。
42-	小学校(中・高学年編) 理科実験実技 スキルアップ研修会	小養中学年 教員(20名)	8月3日(木) 9:00～12:00	A	小学校の教員を対象に、中学年・高学年に分けて、個に応じた指導・補充、発展的な指導を行うための理科の観察・実験方法についての研修を行います。
42-		小養高学年 教員(20名)	8月3日(木) 13:30～16:30	A	
43- New	授業活用のための 校内LAN研修会 (小学校理科)	小養 教員(20名)	8月18日(金) 9:00～12:00	A	コンピュータ室に導入している理科用ソフトウェア(天文・気象等)の機能や操作方法について研修するとともに、校内LANでも利活用できるよう研修します。
43-		小養 教員(20名)	8月18日(金) 13:30～16:30	A	
44	生活科 自然の生き物探検 研修会	幼小養 教員 (40名)	8月3日(木) 9:00～16:30	C	この講座で飼育の授業はバッチリ！牧林功氏を講師にお迎えし、現地での楽しい自然観察や生き物の採取、飼育のQ&A、飼育活動の具体的な授業実践提案を行います。 (会場:さぎ山記念館)
45	生活科コンピュータ授業 活用研修会-町探検での デジカメとソフトの活用-	幼小養 教員 (40名)	8月1日(火) 13:30～16:30	A	毎年大人気の講座です。新しい授業づくりのヒント満載、町探検の魅力いっぱい！探検で見つけた夏を伝えよう！低学年でもできるパソコンの編集方法を紹介します。
46	初心者のための 和楽器実技研修会 ～箏を弾こう～	小中養 教員 (25名)	8月25日(金) 13:30～16:30	A	音楽の授業だけでなく、総合的な学習の時間でも取り上げられることが多い「箏」。まったく触るのも初めての先生、児童生徒の前で1曲以上弾けるようになりませんか。楽器の扱い方から奏法を学ぶので心配はいりません。
47	小学校低・中学年担任の 先生のための 楽しい音楽の授業作り	小 教員 (60名)	8月3日(木) 13:30～16:30	A	小学校の担任の先生方、音楽の授業で苦労していませんか。幼児音楽が専門の埼玉大学教授 志村洋子氏をお迎えして、音楽の授業の楽しい導入方法を学びます。
48-	体験で学ぶ「造形遊び」 研修会	幼小養 教員(30名)	7月25日(火) 9:00～12:00	A	何を材料に、どのような手法で授業を展開したらよいか、体験を通して学ぶ研修会です。「つくりだす」ことで子どもたちが獲得する力を理解することができます。「造形遊び」の初歩から研修します。
48-		幼小養 教員(30名)	7月25日(火) 13:30～16:30	A	
49	はじめての 「ほり進み版画」 研修会	幼小中養 教員 (30名)	8月3日(木) 9:00～16:30	A	国立教育政策研究所調査官 奥村高明氏をお招きし、児童生徒の表現活動からその意図をどう読み取るか研修します。後半は版画表現における基本的な指導(下絵・彫り・摺り)について、実技研修を行います。実践紹介もあります。
50 (11)	ミニマムを保障する 体育、保健体育科 学習研修会	小中高養 教員 (110名)	8月2日(水) 9:00～12:00	A	筑波大学教授 高橋健夫氏を講師に迎え、すべての子どもに必要なミニマムについてご講演いただきます。併せて本市の教科における現状と課題について考え、学習指導へ生かしていきます。
51	1日たっぷり ものづくり研修会	小中 教員 (24名)	8月4日(金) 9:00～16:30	A	技術分野「A技術とものづくり」の内容について元横浜国立大学教育人間科学部教授 中村祐治氏より講義をいただきます。その後、題材製作を通じ、技術・家庭科教員の資質向上を図る研修会です。
52	家庭分野 指導法研修会	小中養 教員 (24名)	8月2日(水) 9:00～16:30	A	家庭分野「A生活の自立と衣食住」の内容について埼玉大学教育学部家政教育講座助教授 河村美穂氏より講義をいただきます。さらに題材製作を通じ、技術・家庭科教員の資質向上を図る研修会です。
53	1から手ほどき 家庭科の調理と製作 研修会	小養 教員 (30名)	8月1日(火) 9:00～16:30	A	調理と製作の実技指導を中心に、包丁の扱い方や適切な縫い糸の長さや針の持ち方など、授業ですぐに役立つ内容を学びます。家庭科を久しぶりに担当した方、初めて担当する方等、奮ってご参加ください。
54	英語科音声指導 スキルアップ研修会	小中高養 教員 (45名)	7月26日(水) 13:30～16:30	A	「英語が読める！」このことは、英語の確かな学力を支える大切な基礎基本です。専修大学教授 田邊祐司氏をお迎えし、英語の発音指導、音読指導について指導法を学ぶとともに、教師自身の技能向上を図ります。
55-	小学校英語活動研修会 (TT授業編)	幼小養 教員(50名)	8月1日(火) 9:00～12:00	A	小学校英語活動についての理解を深め、指導方法を学びます。ALTとのチームティーチングを行うに当たったの打合せの仕方や授業実践の演習を行います。午前、午後のいづれかにご参加ください。
55-		幼小養 教員(50名)	8月1日(火) 13:30～16:30	A	
55-	小学校英語活動研修会 (担任授業編)	幼小養 教員(50名)	8月2日(水) 9:00～12:00	B	小学校英語活動についての理解を深め、指導方法を学びます。学級担任を中心に活動を行っていくに当たり、計画や活動案の立て方を学び、活動の実際について演習を行います。午前、午後のいづれかにご参加ください。
55-		幼小養 教員(50名)	8月2日(水) 13:30～16:30	B	
56 (12)	道徳教育研修会 ～しなやかな授業を 目指して～	小中養 教員 (100名)	8月8日(火) 13:30～16:30	A	実践発表、研究協議および国立教育政策研究所 西野真由美氏の講義を通して道徳の時間における指導方法について学びます。

研修会 番号	研修会名	対象 (定員)	実施日時	会場	研修内容
57 (13)	特別活動研修会	小中養 教員 (100名)	7月24日(月) 9:00 ~ 12:00	A	学級活動の指導について学んだ後小・中別実践発表と協議を行います。小学校は中学校の実践例(キャリア教育)、中学校は小学校の実践例(話し合い活動)を学び、双方のよさを学ぶ機会とします。
58	トータルに学ぶ 「総合的な学習の時間」	幼小中高養 教員 (100名)	8月4日(金) 9:00 ~ 16:30	C	文教大学教授 嶋野道弘氏を迎えての講義と参加者同士の生の声を聞く情報交換の場を設け、確かな学力と豊かな心をはぐくむ総合的な学習の時間の授業づくりを考えます。 (会場:青少年宇宙科学館)
59	国際教育 「世界の学び方」研修会	幼小中高養 教員 (100名)	8月9日(水) 9:00 ~ 16:30	A	どの学級でもすぐに実施できるグローバルアクティビティを体験し、英語活動と関連させて総合的に国際教育を進めることができるような実践を学びます。昨年度も「目からうろこ」の楽しい体験が好評でした。
60	環境教育 「見沼の自然を知ろう」 研修会	幼小中高養 教員 (50名)	8月3日(木) 9:00 ~ 16:30	C	見沼田んぼで自然観察(フィールドワーク)を行います。また、グリーンセンターの「蛍の飼育舎・リスの観察園」見学、環境教育にかかわる実践発表・講演会等を行います。 (会場:見沼グリーンセンター他)
61	福祉・ボランティア教育 研修会	幼小中高養 教員 (50名)	7月25日(火) 13:30 ~ 16:30	B	福祉・ボランティア教育の理論や具体的な実践例を学びます。また、演習も取り入れ、総合的な学習の時間等、実際の授業場面で活用できる研修を行います。
62-	デジタル教材作成研修会 (スマイル:小学校)	小養 教員(24名)	8月1日(火) 9:00 ~ 16:30	B	小学校に導入されている総合ソフト「一太郎スマイル」を使い、授業で使えるデジタル教材を作成します。
62-		小養 教員(20名)	8月2日(水) 9:00 ~ 16:30	A	
63-	デジタル教材作成研修会 (ハイパーキューブ :小学校)	小養 教員(20名)	8月3日(木) 9:00 ~ 16:30	A	小学校に導入されている総合ソフト「ハイパーキューブ」を使い、授業で使えるデジタル教材を作成します。
63-		小養 教員(24名)	8月4日(金) 9:00 ~ 16:30	B	
64	学級担任のための 軽度発達障害研修会 (LD・ADHDを含む)	幼小中養 教員 (220名)	8月1日(火) 13:30 ~ 16:30	B	LD・ADHDをはじめ、高機能自閉症・アスペガー症候群などの軽度発達障害について正しく理解します。また児童生徒に対する効果的な支援の方法について講義や疑似体験を通して学びます。
65	不登校対応研修会	小中養 教員 (180名)	7月25日(火) 9:00 ~ 12:00	C	不登校児童生徒をもつ保護者が担任に望んでいるわが子への接し方について、また親とのかかわり方について講師の実体験から講演いただき、実践に生かしていきます。 (会場:青少年宇宙科学館)
66	実践講座 「異業種に学ぶ接遇」	幼小中高養 教職員 (240名)	8月2日(水) 13:30 ~ 16:30	B	業界の最前線で活躍されている横浜ベイシェラトン&タワーズディレクター 袖山雅弘氏の講演から、異業種と学校教育に共通するコミュニケーションスキルについて学びます。また市職員から公務員としての接遇について学びます。
67	New 実践講座 「子どもたちの笑顔輝く 野外活動・レクリエーション研修会」	小中 教員 (35名)	8月1日(火) 9:00 ~ 16:30	C	昨年度のうおいゆめ講座を拡大し1日の研修としました。実際にキャンプ場で、野外レクや飯盒炊飯を通し、集団を動かしたり子どもたちを楽しませるための演習を行います。講義では野外活動についての理論を学びます。(会場:さざ山記念公園)
68	New 実践講座 「運動会に生かせる ダンス教室」	小 教員 (80名)	7月31日(月) 9:00 ~ 12:00	C	低・中学年の児童を対象とした運動会の企画を講師のさまざまな事例・アイデアから学びます。また実技を通して運動会に生かせる表現運動・ダンスを創造します。 (会場:駒場体育館)
69 (25)	New 教務主任のための コーチング研修会	小中養 教員 (60名)	7月24日(月) 13:30 ~ 16:30	A	教務主任経験豊富な先生方がアドバイザーとなり、教務全般に関してどのように連絡・調整を図るか、講義及び協議を通して学びます。
70	New Lesson Study研修会 (授業研究)- 子どもたちに 「目に見える学力」を-	小中養 教員	(各教科ごとに計画)	C	教育研究所の教科研究委員会が子どもたちの「目に見える学力」の向上を目指して行う公開授業研究会です。授業づくりのヒントにあふれる魅力的な授業を参観・協議し、実践的な指導力を高めていきます。詳細は別途通知します。

会場 A;教育研究所 B;職員研修センター C;その他



【さいたま市教育研究会との共催研修】

(申込みについては、さいたま市教育研究会からの開催案内等をご覧ください。)



研修会 番号	研修会名	対象 (定員)	実施日時	会場	研修内容
71	教育講演会	幼小中高養 教職員 (2000名)	8月30日(水) 14:00 ~ 16:30	C	東海大学教授 山下泰裕氏(ロサンゼルスオリンピック、柔道のゴールドメダリスト)にご講演いただきます。詳細は、さいたま市教育研究会の開催案内等をご覧ください。 (会場:文化センター)

会場 A;教育研究所 B;職員研修センター C;その他

教育経営研修会

1 目的

教育実践の経験と実績をもとに、学校教育に関する理論と方法、実践上の諸課題を経営の視点から究明し、学校経営の推進者としての識見と資質の向上を図る。

2 研修内容

回	期日・会場	内 容			
1	5月12日(金) 教育研究所[午後]			開講式	講演1「政令指定都市 さいたまの教育」 オリエンテー ション
2	5月26日(金) 教育研究所[1日]	講義1「学校教育指導 上の諸課題」	講義2 「学校経営と教育法規」	教育経営演習1 「学校のグランドデザイン」	
3	6月9日(金) 教育研究所[1日]	講義3「学校教育管理 上の諸課題」	教育法規 基礎	教育法規 基礎	研究協議 「職員会議の運営」
4	6月23日(金) 教育研究所[1日]	講義4「教育改革とリー ダーシップ」	教育法規 基礎	教育法規 基礎	研究協議 「人権教 育の現状と課題」
5	7月14日(金) 教育研究所[1日]	講義5「特色ある学校 経営(中)」	教育法規 基礎	教育法規 基礎	研究協議 「健康教育の推進」
6	8月4日(金) 教育研究所[1日]	講義6「特色ある学校 経営(小)」	危機管理事例研究	教育法規 基礎	教育法規応用
7	8月11日(金) 教育研究所[1日]	講義7「学校経営の フォローシップ」	教育法規 応用	研究協議「生徒指導 の組織的な取組」	講義8「キャリア教育の 考え方、進め方」
8	8月25日(金) 教育研究所[1日]	講義9「児童・生徒理解 に立つ学校教育の推進」	危機管理事例研究	教育法規 演習	教育法規 応用
9	9月8日(金) 教育研究所[1日]	講義10「心の教育の 在り方」	教育法規 応用	教育法規 演習	講義11「学校図書館 教育の推進」
10	9月29日(金) 教育研究所[1日]	講義12「生涯学習社会と 学校教育」	危機管理事例研究	教育法規 演習	教育経営演習1「学校 のグランドデザイン」
11	10月13日(金) 市立養護学校[午後]			施設見学養護学校 講義13「特別支援教育の現状と課題」	
12	10月27日(金) 教育研究所[1日]	講義14「民間企業の 経営理論」	研究協議 「学校の 安全管理・安全指導」	教育経営演習2 「学校組織マネジメント研修」	
13	11月10日(金) 教育研究所[1日]	教育経営演習2 「学校組織マネジメント研修」		教育経営演習2 「学校組織マネジメント研修」	
14	11月24日(金) 教育研究所[午後]			教育経営演習3 「学校webページ」	
15	12月15日(金) 教育研究所[午後]			講演2「今、教師としてどう生きるか」	閉講式

初めて教職に就く臨時的任用教員のための研修会

1 目的

初めて教職に就く臨時的任用教員を対象として、教育についての基本的事項に関する研修を行い、教員としての使命感を高め、実践的な指導力を養い、併せて教育公務員としての自覚を高める。

2 研修計画

	研修項目	期日	研修内容	実施機関	会場	
機関研修	1	教員としての在り方	5 / 9 (火)	・個人として ・組織の一員として	市教委	教育研究所
	2	サービスについて	5 / 9 (火)	・勤務校におけるサービス	市教委	教育研究所
	3	安全教育と安全管理	6 / 23 (金)	・安全指導と安全学習 ・学校生活における安全教育と安全管理 ・交通安全指導の実施 ・事故発生に伴う措置	市教委	教育研究所
	4	教育相談の考え方、進め方	6 / 23 (金)	・学校教育相談とは ・学校教育相談の進め方 ・学校教育相談に必要な資料の収集と活用 ・組織としての取組 ・関係機関との連携	市教委	教育研究所
	5	選択研修	選択日	・教育研究所主催教職員研修会の希望研修への参加(1講座以上)	市教委	教育研究所他
学校研修	6	学習指導要領の趣旨	各 学 校 の 計 画 に よ る	・各教科等の目標及び内容 ・指導計画	各学校	各学校
	7	評価の基本的な考え方		・目標に準拠した評価 ・個人内評価の工夫	各学校	各学校
	8	学習指導案演習		・指導目標の明確化 ・児童生徒の実態把握	各学校	各学校
	9	授業参観 事後指導を含む		・学習活動の構成や時間配分 ・観点別学習状況の評価基準の設定	各学校	各学校
	10	授業参観 事後指導を含む		・評価の工夫と評価の生かし方	各学校	各学校
	11	研究授業 事前事後指導を含む		・児童生徒の実態を的確にとらえた指導と評価の計画の作成 ・教材研究、教材分析を十分にした学習指導案の作成	各学校	各学校
	12	研究授業 事前事後指導を含む		・本時のねらいについて ・1時間の指導過程 ・児童生徒の側に立った授業展開	各学校	各学校
	13	研究授業 事前事後指導を含む		・評価について ・言語環境の整備 (教科・道徳・学級活動 等)	各学校	各学校
	14	自校を知る		・自校の歴史、施設、設備 ・学校教育目標、教育指導等の課題 ・校務分掌と自分の役割	各学校	各学校
	15	児童生徒との接し方		・児童生徒との接し方 ・ほめ方、叱り方 ・問題傾向を示す児童生徒への接し方	各学校	各学校
16	保護者との接し方	・保護者会の意義と担任の役割 ・保護者への対応 ・家庭との連絡の配慮事項 ・家庭訪問	各学校	各学校		
17	学級経営	・学級担任の重み ・学級の作り方 ・教室の環境 ・学級の事務	各学校	各学校		

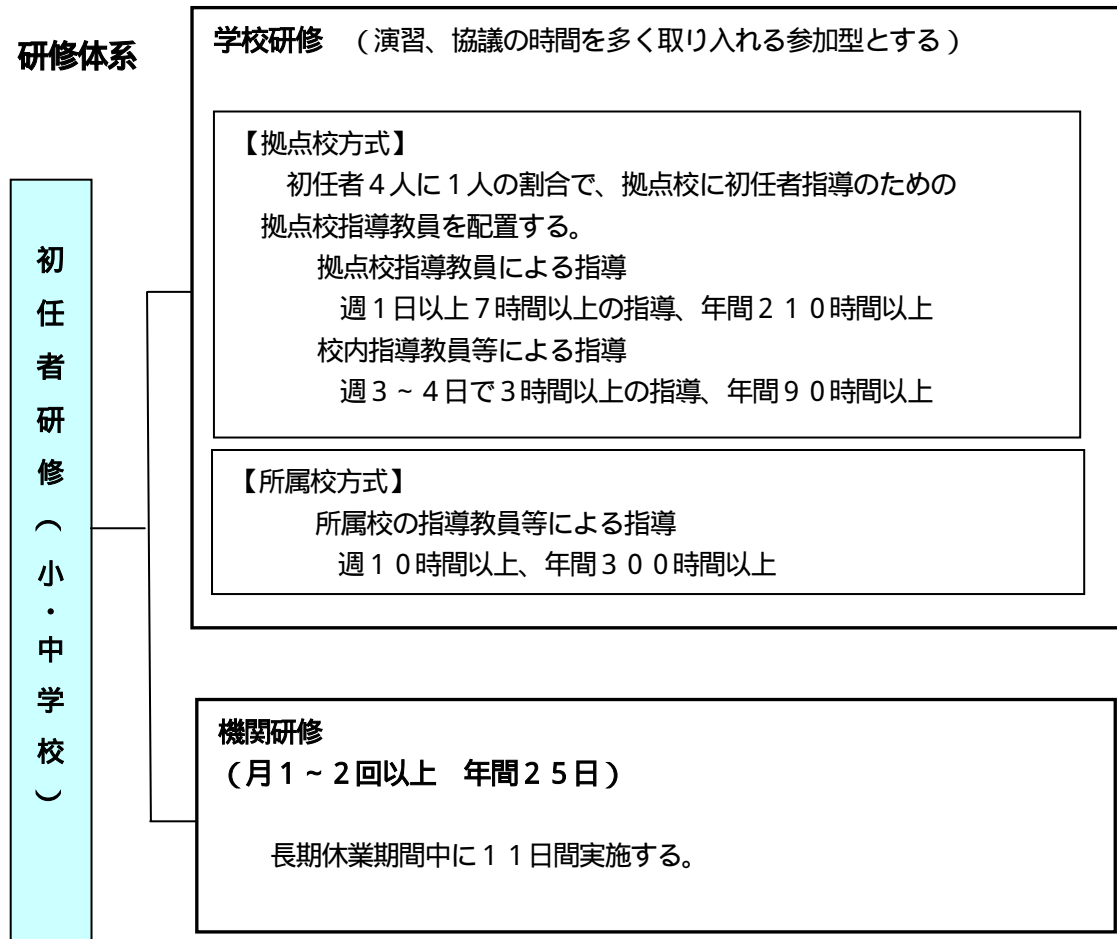
平成18年度 初任者研修体系

さいたま市教育委員会

1 初任者研修の目的

新任教員に対し、現職研修の一環として、一年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを目的とする。

2 研修体系



3 関係諸会議・研修会

諸会議・研修会名	回数	対象
初任研 実施協議会	2回	協議会委員
初任研 実施校校長連絡協議会	1回	実施校校長
初任研 実施校連絡協議会	2回	実施校教頭等
初任研 拠点校指導教員研修会	4回	拠点校指導教員 【拠点校方式】
初任研 校内指導教員研修会	2回	校内指導教員 【拠点校方式】
初任研 所属校指導教員研修会	2回	所属校指導教員 【所属校方式】
初任研 教科指導教員研修会（中学校）	2回	教科指導教員 【所属校方式】

平成18年度 初任者研修機関研修全体計画

回	実施日	小中合同	小学校	中学校
1	4月6日(木)	諸連絡等 開講式 教育長講話 初任者研修の概要		
2	4月12日(水)	サービスの基本 接遇	学級経営の在り方	学級経営の在り方
3	5月17日(水)	グループ編成	グループディスカッション	グループディスカッション 教科別オリエンテーション
4	5月24日(水)	安全教育と安全管理 情報教育		
5	6月28日(水)		道徳教育の意義と進め方	道徳教育の意義と進め方
6	7月5日(水)	生徒指導・教育相談の進め方	小中合同	
7	8月4日(金)	野外活動、レクリエーション	グループディスカッション	グループディスカッション
8	8月7日(月)	学校カウンセリング 基礎研修会		
9	8月9日(水)		情報教育	情報教育
10	8月10日(木)		情報教育	情報教育
11	8月16日(水)		教科研修 4教科ローテーション 国語・社会・理科・家庭	専門教科研修
12	8月17日(木)		教科研修 4教科ローテーション 国語・社会・理科・家庭	専門教科研修
13	8月22日(火)		教科研修 4教科ローテーション 図工・音楽・算数・体育	専門教科研修 部活動の在り方と緊急時の対応
14	8月23日(水)		教科研修[4教科ローテーション 図工・音楽・算数・体育	特別活動の内容と指導の実際 専門教科研修
15	8月24日(木)	特別支援教育	教科研修 生活	総合的な学習の時間のねらいと 指導の在り方
16	夏季休業期間中	選択研修1コマ		
17	9月6日(水)		特別活動の内容と指導の実際 研究発表会等の参加に向けて	キャリア教育 研究発表会等の参加に向けて
18	10月11日(水)		総合的な学習の時間のねらいと指導の在り方	初任者研究授業・協議会
19	10月25日(水)		初任者研究授業・協議会	専門教科研修
20	11月8日(水)		グループディスカッション 個に応じた指導の在り方	研究発表会への参加
21	11月29日(水)		研究発表会への参加	研究発表会参加のまとめ 個に応じた指導の在り方
22	12月6日(水)	人権教育の進め方	研究発表参加のまとめ	グループディスカッション
23	1月10日(水)	学校組織マネジメント 情報教育		
24	1月24日(水)		課題研究発表会	課題研究発表会
25	2月7日(水)	諸連絡等 講演 閉講式		

5年経験者研修

1 目的

初任者研修における研修内容及びこれまでの各学校における教育指導の経験を踏まえて、学級指導及び教科指導等について実践的指導力の向上を目指す。

2 対象

国立、公立、又は私立の学校の教諭として在職した期間が4年（臨時的に任用された期間を除く）に達した者とする。

3 研修内容及び計画

<機関研修>

種別	期日	研修場所	午前	午後
共通研修 5日	4/28(金)	教育研究所	/	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講演「5年経験者教員に期待するもの」 ・グループ協議 「学級経営（又は生徒指導）及び学習指導の目標と手だて」 レポート ・5年経験者研修オリエンテーション
	7/31(月)		<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織マネジメント研修 「学校組織マネジメントの概要の理解」 「問題発見から解決の進め方」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織マネジメント研修 「自分の力量分析と人的環境の分析」 「P D C Aと目標設定」 「学級経営（又は生徒指導）及び学習指導の目標と手だて」 中間発表
	8/7(月)		/	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「授業分析の意義と手法」 ・演習「授業分析演習」
	8/8(火)	職員研修センター	<ul style="list-style-type: none"> ・学校カウンセリング基礎研修 「ソーシャルスキルトレーニング」 「事例研究A方式」 「障害のある子の教育相談」 「事例から学ぶ学校教育相談」 	
	1/17(水)	教育研究所	/	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスについて ・「実践と成果」 レポート ・講話 ・閉講式
教科等 選択研修 1日	夏季 休業中	各研修会場	教育研究所研修（専門）より、2コマ分の研修を選択し受講する。（半日の研修を1コマとし、全日の研修は2コマとカウントする。）	
施設 体験研修 3日	夏季 休業中	各研修場所	福祉施設あるいは博物館において体験研修を行う。夏季休業期間中に3日間行う。（3日間同一の施設とする）	
校種別 研究授業 1日	9月～ 11月	各代表教諭 所属校	校種別に、代表教諭による研究授業及び研究協議（授業分析）を行う。 小学校...教科または領域研究授業 中学校...領域研究授業	

<学校研修>

所属校 研修 2日	6月～ 11月	所属校	各教諭所属校で計画し実施する。教科及び領域の授業研究を中心とした研究協議を2回行う。計画訪問や上記校種別研修における研究授業を行った場合は、1回分と数えることができる。	
-----------------	------------	-----	--	--

10年経験者研修

1 目的

10年経験者研修は、教育公務員特例法第24条に基づき、現職研修の一環として、一年間の研修を実施し、個々の能力、適性等に応じて、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とする。

2 研修の内容

研 修	内 容	実施上の留意事項
機関研修	【18日間】 ・全体会（2日） ・経営研修（2日） ・企業体験研修（5日） ・選択研修（小4日、中3日） ・初任者サポート研修（小1日、中2日） ・情報教育研修（2日） ・生徒指導等研修（1日） ・授業研究会（1日）	18日間の研修を確保する。 主に、長期休業期間中に実施する。 教育研究所主催の「一般研修」を積極的に活用する。 教員の資質・能力、適性等に応じた研修ができるよう研修の内容を工夫する。 今後求められる資質（組織経営力や教員育成力等）を意識した研修内容も取り入れる。
学校研修	【18日間】 ・授業研究 ・自校の課題解決の研修 ・特定課題研究 など	学校や教員の実態等に応じて18日間の研修を確保する。 研修生自身の自己評価等を参考に、自らの課題や適性、得意分野等について再認識させ、研修意欲を喚起し、実効ある研修を実現できるようにする。

3 機関研修計画

	月/日(曜)	研修内容	研修予定場所	午前	午後
1	4/25(火)	全体会	教育研究所		【全体】 講義 マネジメント研修 ガイダンス
2	7/4 (火)	経営研修	教育研究所		【全体】 マネジメント研修 ガイダンス
3	7/24(月)	経営研修	教育研究所	【全体】	学校組織マネジメント研修
4 、 8	8/7 (月) 、 8/11(金)	企業体験 研修	各事業所 別紙参照	【選択】	企業体験研修 (13企業の中から1企業を選択する)
9 、 13		選択研修 【選択】	小 研究所研修・大学講座の中から、8コマ(4日分)を選択する 中 研究所研修・大学講座の中から、6コマ(3日分)を選択する 埼玉大学公開講座(14コマ)については、必ず1コマ以上選択する。		
14 15	8/24(木) 8/25(金)	情報教育研修	職員研修センター	【全体】	授業活用実践発表・技能スキルの発展・ 情報教育研修
16	8/28(月)	生徒指導	教育研究所	【全体】	生徒指導・教育相談・特別支援教育
17	未定	授業研究会	会場校	= 2~3学期に実施 =	校種代表1名授業公開
18	2/9(金)	全体会	教育研究所		【全体】 課題研究報告・閉講式

情報教育事業

児童生徒の情報活用能力の育成とコンピュータを活用した「わかる授業」の実現を目指し、光高速回線による教育情報ネットワークの円滑な運用と教育用コンピュータや学校図書館コンピュータシステムにかかわる機器の整備及び情報教育の充実を図る。

1 情報教育に関する業務の一元化

(1) 情報教育の充実のための施策の推進

- ・研修会や研究委員会を通じた情報教育の施策の浸透
- ・情報モラル指導の充実を図るための管理職をはじめとした全教職員に対する有害情報等の現状の周知や情報セキュリティに対する意識の高揚
- 「情報危機管理研修会（管理職対象）」、「情報モラル研修会（担当者対象）」の実施

(2) さいたま市教育委員会学校教育部Webページ（ホームページ）の作成

- Webページの充実による各事業の取組、施策等の適切な情報発信

(3) 情報教育に関する通知、調査、報告

- ・各学校へ配布する各種文書、資料等の作成をはじめ、情報教育の充実のための施策の推進
- ・文部科学省等からの調査について、各学校への通知・集約・分析・報告

2 教育情報ネットワークの運営・管理

(1) 授業充実のための校内LANを活用した情報教育の推進（いつでも・どこでも・手軽に）

- ・校内全ての子どもたちが適切に情報を共有できる指導法の研究
- ・教育機器として適切な機器構成の検討・研究

(2) インターネット利用環境の管理

- ・学校からの接続回線の管理
- ・インターネット接続に関するセキュリティやフィルタリング（閲覧制御）機能の向上

(3) 教育研究所Webページの充実と活用促進

- ・Webページ上で公開する情報（地域教材等）の更新、充実

(4) 学校図書館蔵書情報の相互検索システムの運用

- ・各学校から転送された蔵書データの一元管理とイントラネットでの公開による相互検索システムの運用

(5) 図書・教育文献データベースの充実

- ・図書、教育文献、学習指導案、AVデータ等の追加更新
- ・インターネット環境での円滑な検索及び有効活用の促進

(6) テレビ会議システムの円滑な運用と活用促進

- ・博物館等の関係機関と連携したテレビ会議システムの活用
- ・テレビ会議室の管理や運用手順書の作成等による学校支援
- ・市外部機関と学校との連絡調整及び接続に関わる支援

(7) VOD（蓄積型ビデオ配信）サーバの活用

- ・関係機関との連携を図り、映像教材の収集・配信のための研究
- ・授業用デジタルコンテンツ活用のための研究

(8) Eメールの活用

- ・Eメールの円滑な運用

3 コンピュータ研修の充実

(1) 情報教育推進のための支援

情報危機管理研修会・・・・・・・・・・・・・・・・指定

管理職を対象とし、教育情報ネットワーク機能の有効活用を図る上で必要な情報モラル指導の充実に関する内容等についての研修

情報モラル研修会・・・・・・・・・・・・・・・・指定

ネットワーク運用担当者を対象とした教育情報ネットワーク機能の有効活用を図る上で必要な情報モラル指導の充実に関する内容等についての研修

(2) 学校Webページ(Webページ)充実のための支援

学校Webページ更新研修会・・・・・・・・指定

学校Webページの充実と適切な更新を図るための研修(毎学期実施)

(3) コンピュータの授業活用をより一層図るための支援

コンピュータ授業活用指導者研修会・・・・・・・・指定

すべての教員がコンピュータを活用した授業ができるようにするための全教員対象の研修

少人数指導のためのコンピュータ活用研修会・・・・・・・・指定

教育用コンテンツ提供型ソフトウェアに関する知識・技能を高め、コンピュータを使って教科指導ができることを目指した研修

コンピュータ導入校研修会・・・・・・・・指定

新規導入したネットワークコンピュータの取り扱い、運用の仕方等についての研修

学校図書館コンピュータ導入校研修会、学校図書館コンピュータ導入校司書研修会、学校図書館コンピュータ入替校司書研修会・・・・・・・・指定

学校図書館に導入したコンピュータの機能と基本的な操作についての理解を図るための研修

デジタル教材作製研修会(スマイル・キューブ:小学校)・・・・・・・・希望

学校に導入している統合ソフトを使って、小学校の教員が授業活用を目的としたデジタル教材を作製する研修

授業充実のための校内LAN活用研修会・・・・・・・・希望

校内LANを活用した授業を充実視点に置いた教科(小学校算数、中学校数学、小学校理科)でのコンピュータ利活用の方法を学ぶ研修

4 マルチメディア教材の開発

・VODサーバを活用した授業用デジタルコンテンツの開発

5 学校図書館コンピュータシステムの構築及び管理・運営

(1) 学校図書館へのコンピュータ導入の推進

・平成18年度 17校導入予定 (124校導入完了予定、未導入校 32校)
56校入替予定

(2) コンピュータによる学校内の蔵書検索、貸出管理の支援

・蔵書のデータベース構築
・学校図書館用コンピュータソフト運用に関する支援
・学校図書館用コンピュータハード保守・管理

(3) ネットワーク校による蔵書の共有検索の推進

・コンピュータ導入校の蔵書データ相互検索の実施

6 教育用コンピュータ等のハード面整備

・教育用コンピュータ等の導入・入替に係わる仕様書作成及び学校との調整
(平成18年度 小学校18校、中学校14校)

主な施設・設備

○ 特 徴 ○

- 1 ネットワークの中核となるサーバ群
- 2 自主教材の制作を容易にする視聴覚施設・設備
- 3 教師の指導技術の向上を図る各種実技研修室
- 4 最新の教育情報を提供する教育情報資料室と図書資料室
- 5 180人を収容し、広く研修に活用される研修ホール
- 6 身近で親身がモットーの教育相談室

カリキュラムサポートセンター(2 F)



図書資料室(2 F)

- 工期 昭和 63 年 6 月～平成元年 10 月
- 建築規模 鉄筋コンクリート造
地下 1 階、地上 5 階
- 敷地面積 2,025.44 ㎡
- 建築面積 903.93 ㎡
- 延床面積 4,331.96 ㎡



教科書センター・資料室(3 F)



ロビー(1 F)



コンピュータ研修室(4 F)



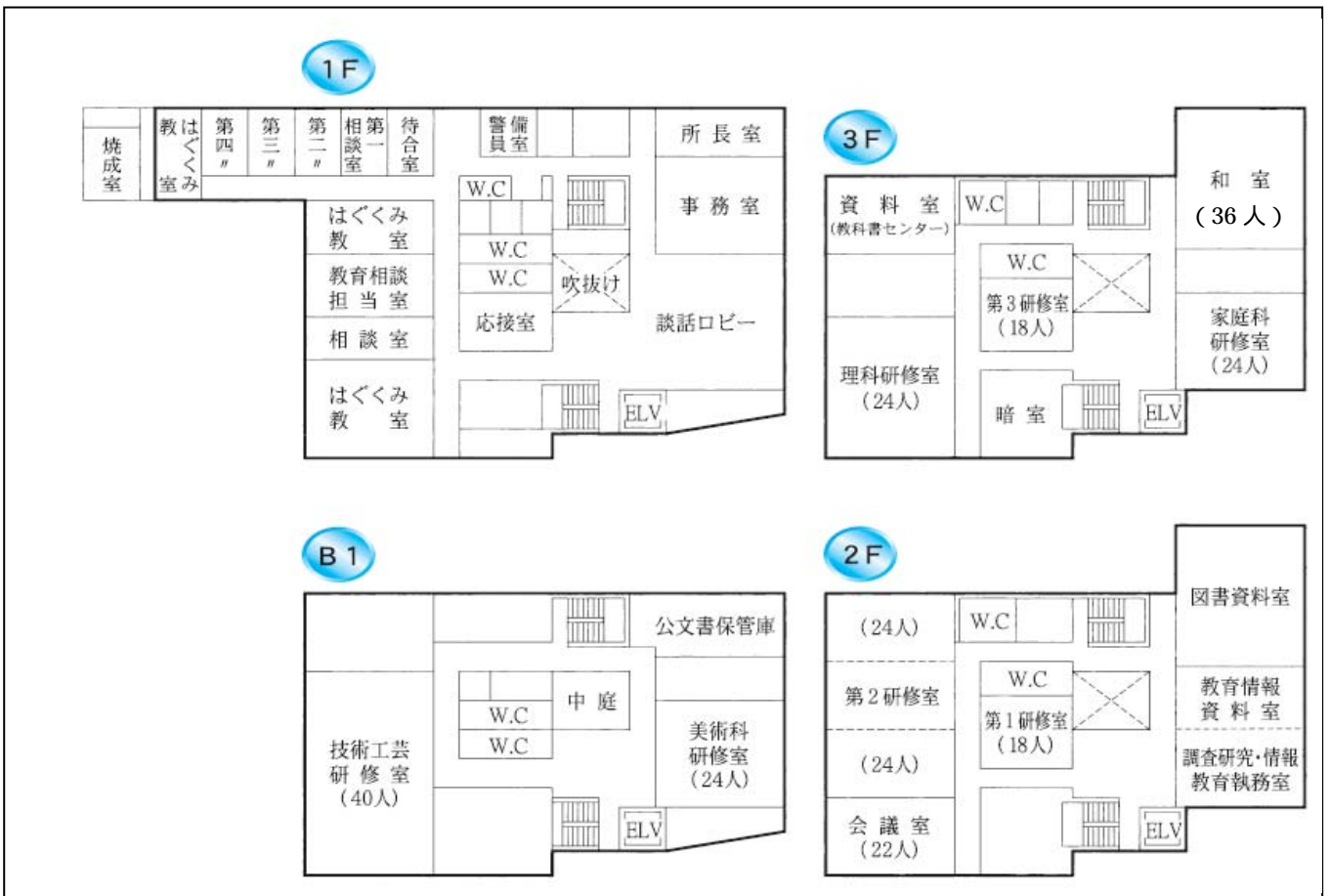
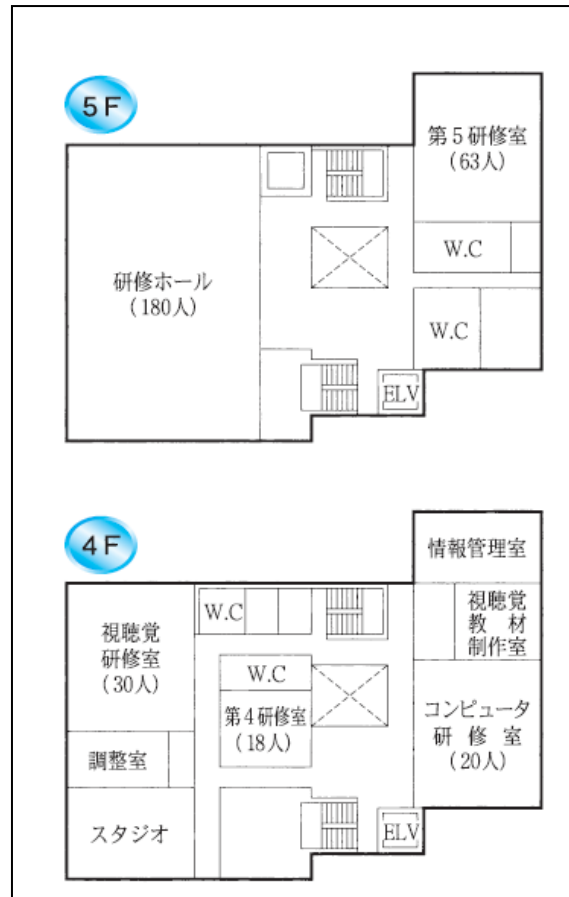
岸町教育相談室(1 F)



スタジオ(4F)



研修ホール(5F)



案内図



平成18年度

要覧

さいたま市立教育研究所

郵便番号 330-0064

住所 さいたま市浦和区岸町6丁目13番15号

電話 048(838)0781

FAX 048(838)0888

E-mail kenkyujo@saitama-city.ed.jp

URL <http://www.saitama-city.ed.jp/>

